

報告 1.交通騒音は 100 万を超える健康な年月を阻害している。

西ヨーロッパにおいて、環境騒音による健康被害は、体調不良、障害或いは早世によって多くて年間 160 万の健康な生存年数を失わせている可能性があるとして、世界保健機関(WHO)の新しい調査が概算した。

環境騒音が健康に悪影響を及ぼすという証拠とともに、特に騒音暴露が増加していることがわかるにつれ、環境騒音が健康に及ぼす影響は政策の注意を引き続けてきた。政策への情報提供と管理戦略開発のために、騒音暴露が健康に及ぼす影響の可能性を評価するため、リスクアセスメントが必要である。

調査は、環境騒音と健康影響の関係についての証拠を収集し、暴露と健康の間の関連性についての現在の知識に基づいて健康影響の概算を示した。これは、早死により失われた潜在年齢と疾病や病気によって失われた健康年齢をを組み合わせた DALYs(障害調整生存年)を使用して行われた。心臓血管系疾患、認知障害、睡眠障害、耳鳴りやうるささの影響に焦点を当てた。うるささが含まれた理由は、WHO が「健康」の定義を「肉体的、精神的そして社会的に完全に良好な状態」としているからである。ある影響については、利用可能なデータの制限のため、欧州の一定の部分、及び又は、年齢のグループの一定の部分についてのみ概算が行われた。

高血圧と虚血性心疾患(心筋への血液供給が減ることで引き起こされる)を含む心臓血管系疾患については、環境騒音は高所得国ではほぼ 61,000DALYs の損失の原因となることを調査結果が明らかにした。スウェーデンのデータを他の西ヨーロッパの国々に外挿することで、7 才から 19 才の年齢の子供について、認知障害によって騒音暴露は 45,000DALYs の損失の原因になっていると調査は見積もった。住民の数が 50,000 を超える都市に住んでいる EU の人口については、うるささが 654,000DALYs の損失の原因となっている一方、睡眠障害は概算で 903,000DALYs の損失の原因だった。騒音が引き起こす耳鳴りは大人の人口でおよそ 22,000DALYs の損失を生んだ。

合計で、環境騒音の健康影響は 100 万から 160 万の間の DALYs であることをこれは意味する。範囲は見積もりが行われた異なった人口に配慮した。調査は潜在性(sub-clinical)の影響、年齢、性別、職業の複合的影響、大気汚染物質や化学物質のような他のストレス要因と騒音の暴露が組み合わさった健康影響のような他の不確実要素がある可能性を強調する。

にもかかわらず、調査で示したリスクアセスメントの実際は、EU(欧州連合)の Environmental Noise Directive の下での国家的及び地域的な騒音地図及び行動計画の導入に適用可能である。地域的には、南東欧のような、必要なデータが容易に入手できないところでは、調査は見積もり計算のための幾つかの選択肢を用意する。

出典 : World Health Organisation Regional Office for Europe and JRC European Commission. (2011) Burden of disease from environmental noise. Quantification of healthy life years lost in Europe. WHO European Centre for Environment Health, Bonn Office. Downloadable from

<http://www.euro.who.int/en/what-we-publish/abstracts/burden-of-disease-from-environmental-noise.-quantification-of-healthy-life-years-lost-in-europe>

連絡先:rki@ecehbonn.euro.who.int

主題:環境と健康、騒音